

イタリア音楽の旅 第三回

イ・ムジチ黄金期の前コンサートマスター

独奏
フエデリコ・アゴステイニーニ

チェンバロ
岡田龍之介

合奏 コンチエルト・デイ・ガレリア

ヴィヴァルディ

四季

Federico Agostini

Concertmaster (1986-1992)
I Musici, Roma

Vivaldi Le quattro stagioni

横浜市戸塚区総合庁舎 4f

戸塚区民文化センター さくらプラザホール

開場 13:30 開演 14:00 / 全席指定 ¥4,900 (税込)

お申込み：販売開始 5月1日(月)

さくらプラザ 4f 窓口で販売(ご来場のみ、電話予約不可)

ヴィアガレリア
お申込

メール申込(銀行振込) : info@viagalleria.or.jp

WEB 申込(銀行振込) : https://goo.gl/28s7Cc

メール申込は「9/24ヴィヴァルディ四季・戸塚」明記下さい。



お申込み QR コード



主催：(社) VIA GALLERIA

後援：イタリア文化会館

後援：横浜市戸塚区民文化センター

2017年
9/24日



Federico Agostini
Vivaldi
Le quattro stagioni

Program

ヴィヴァルディ：
 コンチェルト「四季」RV269, RV315,
 RV293, RV297
 コンチェルト「安らぎ」変ホ長調 RV270
 コンチェルト「お気に入り」変ホ長調 RV277 他

コンチェルト・ディ・ガレリア

室内合奏・オーケストラ

岡田龍之介氏が主宰する、モダン楽器のアンサンブル兼室内管弦楽団であり、バロックから古典派までのレパートリーを其々の楽曲に相応しい編成で演奏するグループである。主宰者兼指揮者の音楽解釈を土台に、第一線のアンサンブル経験豊富な奏者たちの自発的な感性・解釈の発露も織り交ぜ、表情豊かな音楽を編み出していく手法は、そのまま往時の再現現場を蘇らせるものである。緻密ながら柔軟なアンサンブルを身上とし、時に現代の感性に訴える斬新で大胆な表現も取り入れ、従来の室内合奏団とは異なる魅力、表現法を志向している。

【お申込み】

◎さくらプラザ 4F 窓口で販売（ご来館のみ。電話予約不可）

◎ヴィアガレリアのホームページから（銀行振込）

URL：<https://goo.gl/28s7Cc>

◎ヴィアガレリアへ直接メールで（銀行振込）

メール申込：info@viagalleria.or.jp

「9/24 ヴィヴァルディ四季・戸塚」と明記



【お問い合わせ】

メール：info@viagalleria.or.jp お電話：045-961-0813 岡田

ホームページ：<http://viagalleria.or.jp/>

※曲目・出演者などやむを得ず変更させていただく場合がございます。
 ※未就学児の入場はお断りいたします。
 ※車椅子席をご希望の方は、チケット申込の際お知らせください。
 （車椅子席はさくらプラザ窓口でお申込下さい）

フェデリコ・アゴスティーニ ソロヴァイオリン

イタリアはトリエステで生まれる。祖父から早期教育を受け、ヴァイオリンをトリエステとベネチアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父にあたるフランコ・グッリらに師事した。16歳でカルロ・ゼッキ指揮のもとモーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー。数多くのコンクールに優勝・入賞し、国際的に輝かしい活動を開始する。Virtuosi di Romaに在籍後、1986年からは伝統的なイタリアの合奏団、「イ・ムジチ」のコンサートマスターを務める。その傍ら、ソリストとして世界有数のホールに登場、また1987年からローマ・フォーレピアノ五重奏団のメンバーとしても活躍した。日本など世界各地の音楽祭に参加。室内楽奏者として、ブルーノ・ジュランナ、ジェイミー・ラレド、練木繁夫、ジョゼフ・シルバーシュタイン、ヤーンシュ・シュタルケル、堤剛、渡邊康雄、アメリカ四重奏団、エマーソン四重奏団、ファインアーツ四重奏団、東京四重奏団、ガールネリ四重奏団などと共演している。トリエステとベネチアの音楽院で教えた後、ドイツ・トロツィンゲン音楽大学で10年間、アメリカ・インディアナ大学教授を10年務めた。指導者としても定評があり、日本、スウェーデン、イタリア、メキシコ、オーストラリア、香港などでマスタークラスを開催している他、各地の音楽祭に招聘されている。2012年8月より、ニューヨーク州イーストマン音楽院の教授。

岡田龍之介 チェンバロ

東京芸術大学楽理科卒業、同大学院修了。作曲を本間貞史、音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事する。83年デビュー以来、フェデリコ・アゴスティーニ、シギスヴァルト・クイケンら、多くの優れたソリストとの共演を通じてアンサンブル経験を深め、近年はソロ、講演会・執筆活動にも力を入れている。NHK-FM出演に加え数々の音楽祭に参加、韓国やドイツ等にも客演している。第13・23回古楽コンクール・チェンバロ部門審査員。レコード芸術誌準特選のソロCD「銀色の響き」の他、10枚のCDをリリース。多数のアンサンブルを主宰、ザロモン室内管弦楽団では指揮を務める。演奏活動に加え洗足学園音楽大学、都留音楽祭講師も務める。

